

令和6年度 事業 報 告 書

I 事業概要

広く県民一般に対し、原子力及びその平和利用に関する知識の普及啓発を行うことにより、これらに対する認識を高め、もって原子力の平和利用の円滑な推進に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

また、見学者数については、令和2年度から令和4年度までの間、新型コロナウイルス感染症の影響で減少が続いていたが、令和5年度から増加に転じ、令和6年度においても増加傾向を維持できている。

II 事 業

1 エネルギーの明日が体験できる「ふれあい広場」の維持管理及び運営

(1) 展示ホールの運営（県受託事業・普及啓発事業）

原子力発電の仕組みや放射線、発電所の安全対策や県の環境放射線監視体制などについての展示物を、来館者へ公開した。

利用人数の推移

(単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館総日数	324	343	341	341	337
見学者総数	713	619	552	1,136	1,267
前年度対比	39.6%	86.8%	89.2%	205.8%	111.5%
見学者累計	159, 118	159,737	160,289	161,425	162,692

(2) 展示ホールの保守管理【県受託事業】

展示物の保守管理及び必要な修繕を実施するとともに、最新の情報提供に努めた。

- ・展示物「原子力情報BOX・伊方発電所Q&A」運用保守監視
- ・展示物「原子力情報BOX・伊方発電所Q&A」バージョンアップ対応
- ・展示物「原子力情報BOX・伊方発電所Q&A」情報更新
- ・展示物「佐田岬半島地形模型」映像修正
- ・展示物「ダイナマックスシアター」ブルーレイディスクプレイヤー更新

2 原子力及びその平和利用に関する広報研修活動

(1) 放送放映事業の実施【普及啓発事業】

住民に放射線の正しい知識を普及啓発するため、CATVを利用し、「身近な放射線～正しく知って正しく恐れよう～」及び「原子力災害に備える住民避難」の動画を放送した。

・(一財)八西CATV

期 間 令和6年9月7日～令和6年12月8日

回 数 12回

・西予CATV(株)

期 間 令和6年9月2日～令和6年11月11日

回 数 7回

・(株)ケーブルネットワーク西瀬戸

期 間 令和6年9月7日～令和6年12月7日

回 数 7回

(2) 新聞折込広報の実施【県受託事業】

原子力・放射線関連のチラシを作成し、新聞折込広告により原子力・放射線の正しい知識の普及啓発及び広報センターの行事案内や参加者募集に努めた。

	印刷部数	折込時期
1回目	56,990枚	令和6年7月23日
2回目	54,590枚	令和6年10月17日

折込新聞 愛媛、朝日、毎日、読売、産経の5紙

折込地域 伊方発電所周辺地域 5市2町

(3) 原子力講演会の実施

① 講演会【県受託事業・町受託事業】

原子力や放射線をテーマとした講演会を開催し、県民を対象に広く原子力の知識の普及啓発に努めた。

伊方会場【町受託事業】(リモート)

開催日時 令和6年9月11日(水) 13:30～15:20

開催場所 伊方町役場6階 大会議室

演題 「GXに向けた挑戦と原子力発電の役割について」

講師 九州大学大学院工学研究院 教授 馬奈木 俊介

参加者 57名

八幡浜会場【県受託事業】

開催日時 令和6年11月29日(金) 13:30～15:30

開催場所 八幡浜市民文化活動センター Comican

演題 「エネルギー危機が変えた世界の原子力事情」

講師 国際環境経済研究所所長

常葉大学名誉教授 山本 隆三

参加者 59名

松山会場【県受託事業】

開催日時 令和7年1月25日(土) 13:30～15:30

開催場所 愛媛県美術館 講堂
演題 「放射性廃棄物、核燃料サイクルってなんだろう?」
講師 九州大学大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門
准教授 稲垣 八穂広
参加者 33名

松前会場【県受託事業】

開催日時 令和7年2月1日(土) 15:00~16:30
開催場所 松前町役場3階 大会議室
演題 「現在のエネルギー供給の課題とGX、脱炭素社会へ向けて」
講師 九州大学大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門
教授 藤本 望
参加者 60名

② 自治体向け放射線セミナー【県受託事業】

30キロ圏内の自治体職員を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

開催市町 大洲市
開催日時 令和7年1月22日(水) (計2回)
10:00~11:30
13:30~15:00
開催場所 大洲市役所 2階 大ホール
演題 「放射線の基礎知識」
講師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造
参加者 111名

③ 一般向け放射線セミナー【町受託事業】

一般向け放射線セミナーは、台風接近により中止した。

○中止したセミナー

伊方地域：小中浦地区

開催日時 令和6年9月1日(日) 8:30~9:30
開催場所 小中浦集会所 3階
演題 放射線被ばくによる人体への影響
講師 長崎大学 原爆後障害医療研究所
国際保健医療福祉学研究分野 准教授 松永 妃都美

三崎地域：三崎地区

開催日時 令和6年9月1日(日) 8:30~9:30
開催場所 三崎中央集会所
演題 放射線被ばくによる人体への影響

講 師 長崎大学 原爆後障害医療研究所
国際保健医療福祉学研究分野 教授 高村 昇

④ 教員向け放射線セミナー【普及啓発事業】

30km圏内の教職員を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

【第1回 伊方町】

開催日時 令和6年8月1日（木）14：00～15：30
開催場所 伊方町役場（本庁）3階 会議室
対 象 伊方町の小中学校教職員
演 題 放射線の基礎セミナー
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造
参 加 者 16名

【第2回 西予市】

開催日時 令和6年8月21日（水）15：00～16：00
開催場所 東宇和教育会館 3階 会議室
対 象 西予市の小中学校教職員
演 題 放射線の基礎セミナー
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造
参 加 者 16名

⑤ 団体向け放射線セミナー【町受託事業・普及啓発事業】

30km圏内の団体を対象にセミナーを開催し、放射線の正しい知識の普及啓発に努めた。

【町受託事業】

開催日時 令和6年8月27日（火）14：00～15：30
開催場所 伊方町役場（本庁）6階 大会議室
対 象 伊方町の職員
演 題 放射線の基礎セミナー
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造
参 加 者 20名

【普及啓発事業】

開催日時 令和6年7月3日（水）15：10～15：50
開催場所 西予市商工会本所 2階 会議室（大ホール）
対 象 西予市商工会職員及び会員
演 題 放射線の基礎セミナー
講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造
参 加 者 23名

⑥ 子ども放射線出前セミナー【県受託事業・町受託事業】

30km圏内5市2町の小中学校及び三崎高等学校の10校を対象にセミナーを開催し、放射線の講義や簡易放射線測定器による放射線の測定のほか、霧箱による放射線の観察を行い、放射線に関する正しい知識の普及に努めた。

講 師 愛媛大学 客員准教授 医学博士 増田 晴造

市町名	学校名	受講学年	開催日	生徒児童 人数
八幡浜市	喜須来小学校	5年生	10月16日(水)	18
八幡浜市	宮内小学校	6年生	11月7日(木)	16
伊予市	由並小学校	5.6年生	11月15日(金)	9
西予市	皆田小学校	5.6年生	12月3日(火)	21
			小学校 計	64
西予市	宇和中学校	2年生	10月30日(水)	127
大洲市	平野中学校	1.2年生	11月6日(水)	23
大洲市	肱東中学校	3年生	11月11日(月)	33
伊方町	伊方中学校	全学年	11月19日(火)	85
大洲市	長浜中学校	1年生	12月19日(木)	36
			中学校 計	304
伊方町	三崎高等学校	1年生	10月23日(水)	50
			高等学校 計	50
			総計	418

⑦ エネルギー講座【普及啓発事業】

小学生を対象に、ロボット等の機械を利用しエネルギーについて楽しく学ぶ講座を開催した。

開催日時 令和6年7月22日（月）13：00～15：30

開催場所 伊方町民会館 2階 視聴覚室及び愛媛県伊方原子力広報センター
2階 展示ホール

内 容 ロボットの実演、簡易ロボットの工作、電気・エネルギーの話

講 師 八幡浜工業高校教師4名及び生徒11名

参 加 者 子ども15名

⑧ 子ども科学教室【普及啓発事業】

きなはいや伊方まつりと協賛して小学生を対象にサイエンスショーや工作教室を通して、エネルギーについて楽しく学びエネルギーの重要性を啓発した。

開催日時 令和6年7月28日（日）10：00～15：00

開催場所 伊方町民会館2階 視聴覚室

出展内容 サイエンスショー、工作教室 各2回

講 師 彩星工科高等学校教諭 北野 貴久

栃木県こども総合科学館 企画事業課 主任 福島 杏
参 加 者 子ども 60名、保護者 45名

⑨ 子ども工作教室【普及啓発事業】

小学生を対象に、工作を通じてエネルギーについて楽しく学ぶ教室を開催した。

開催日時 令和6年12月15日(日) 13:30～15:30
開催場所 伊方町民会館 3階 研修室
内 容 「風船ロケットを作って飛ばそう」
講 師 愛媛県総合科学博物館 学芸課科学・産業研究グループ
専門学芸員 藤本 光章
参 加 者 子ども 17名 保護者 13名

(4) 簡易放射線測定器貸出【県受託事業】

個人 なし
団体 なし

3 原子力及びその平和利用に関する各種資料の作成及び刊行

(1) 広報用リーフレット「えひめ原子力だより それいゆ」の発行、配布【県受託事業】

県の原子力防災に関する取組状況、環境放射線等調査結果等を掲載した広報用リーフレットを発行、配布した。

内 容 環境放射線等調査結果、原子力関係情報、各種行事案内
えひめ LOVERS いま訪ねたい SPOT&AREA 他
発 行 年4回 各66,000部
配 布 先 30km圏内の5市2町は全戸配布（一部、地区単位の回覧での閲覧あり）、県内の市町、コンビニ・スーパー、関係機関及び周辺6県

(2) 広報資料冊子の購入、配布（県受託事業・町受託事業・普及啓発事業）

原子力、放射線関連の資料冊子を購入し、セミナー参加者や来館者等に配布し、正しい知識の普及啓発に努めた。

種 類	購入部数	配 付 先
【県受託事業】		
「原子力総合パンフレット2024」	320部	セミナー、講演会、見学会、
「いま知りたい からだと放射線」	50部	展示ホール来館者等
【町受託事業】		
「原子力総合パンフレット2023」	200部	セミナー、講演会、見学会、
「いま知りたい からだと放射線」	400部	展示ホール来館者等
【普及啓発事業】		
「いま知りたい からだと放射線」	200部	セミナー、展示ホール来館者等

(3) 広報用カレンダーの作成、配布【町受託事業】

原子力関連情報を記載した広報用カレンダーを作成して伊方町全戸に配布し、日々の生活の中での身近な広報啓発に努めた。

題材 「いかたから」、放射線ミニコラム

作成部数 4,600部

配布先 伊方町内全戸、町内公共施設、関係機関等

(4) 広報用資料の作成、配布【普及啓発事業】

○原子力関連情報を記載した広報用定規を作成し、各事業参加者へ配布した。

作成部数 300個

○原子力関連情報を記載した展示ホール案内パンフレットを作成し、各事業参加者へ配布した。

作成部数 4,000部

○各事業参加者へ配布する資料等を入れる、手提げ袋を作成した。

作成部数 7,500枚

4 原子力及びその平和利用に関する各種資料の収集及び公開

(1) 閲覧資料整備【町受託事業】

新聞7紙の原子力関連記事を、収集・データベース化した。

原子力関連新聞記事の収集件数

新聞名	件 数	新聞名	件 数
朝日新聞	365 件	日本経済新聞	448 件
毎日新聞	340 件	日刊工業新聞	203 件
読売新聞	362 件	愛媛新聞	644 件
産経新聞	281 件	合 計	2,643 件

(2) 情報発信収集の実施

① インターネットによる情報発信・収集【普及啓発事業】

ホームページ等に原子力、放射線関連の情報や各種事業の案内等を掲載し、リアルタイムの情報提供と知識の普及啓発に努めた。

令和6年度アクセス件数 5,859件

② インターネットによる情報収集【県受託事業】

展示ホールのパソコンを、来館者に無料開放した。

5 原子力施設見学の指導及び実施

愛媛県民を対象に、原子力関連施設の見学会を実施し、原子力に対する知識の普及啓発に努めた。

(1) 一般見学会【県受託事業】

愛媛県民を対象に、見学会を5回実施した。

実施日	参加対象	参加人数	事業区分
令和6年8月20日(火)	原則として30km圏内の5市2町の一般住民	33名	県受託事業
令和6年8月23日(金)		32名	
令和6年8月28日(水)		24名	
令和6年11月14日(木)		22名	
令和6年11月20日(水)		21名	
合計		132名	

見学施設：伊方発電所・伊方ビジターズハウス・愛媛県原子力センター

伊方原子力広報センター

(2) 団体見学会【県受託事業・町受託事業・普及啓発事業】

県内の各種団体を対象に、見学会を8回実施した。

実施日	参加団体	参加人数	事業区分
令和6年9月19日(木)	吉岡公民館(西条市)	29名	県受託事業
令和6年9月30日(月)	伊方リゾート地区防災会(伊方町)	18名	町受託事業
令和7年1月22日(水)	ふれあい喫茶みなと(伊方町)	15名	
令和6年6月11日(火)	臥龍サロン(大洲市)	31名	
令和6年7月11日(木)	中央自治会いきいきサロン(内子町)	18名	普及啓発事業
令和6年10月9日(水)	南予地方局八幡浜支局(八幡浜市)	22名	
令和6年10月20日(日)	キドフーズ(株)(内子町)	34名	
令和6年11月6日(水)	八幡浜高校定時制(八幡浜市)	19名	
合計		186名	

見学施設：伊方発電所・伊方ビジターズハウス・伊方原子力広報センター

事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

貸 借 対 照 表

令和 7年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	36,174,061	34,638,647	1,535,414
普通預金	3,174,061	1,638,647	1,535,414
伊予銀行伊方支店	3,168,040	1,638,647	1,529,393
愛媛信用金庫八幡浜支店	6,021	0	6,021
定期預金	33,000,000	33,000,000	0
未収金	5,653,406	6,749,928	△1,096,522
流動資産合計	41,827,467	41,388,575	438,892
2 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	6,000,000	6,000,000	0
基本財産合計	6,000,000	6,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,073,144	7,159,773	913,371
減価償却引当資産	1,440,248	1,391,837	48,411
特定資産合計	9,513,392	8,551,610	961,782
(3) その他固定資産			
什器備品	2,516,840	2,384,180	132,660
減価償却累計額 △	2,317,082	2,268,671	48,411
その他固定資産合計	199,758	115,509	84,249
固定資産合計	15,713,150	14,667,119	1,046,031
資産の部合計	57,540,617	56,055,694	1,484,923
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	4,918,615	4,818,815	99,800
預り金	57,306	164,832	△107,526
流動負債合計	4,975,921	4,983,647	△7,726
2 固定負債			
退職給付引当金	8,073,144	7,159,773	913,371
固定負債合計	8,073,144	7,159,773	913,371
負債の部合計	13,049,065	12,143,420	905,645
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
出資金	6,000,000	6,000,000	0
指定正味財産合計	6,000,000	6,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	38,491,552	37,912,274	579,278
正味財産の部合計	(1,440,248)	(1,391,837)	(48,411)
負債及び正味財産合計	44,491,552	43,912,274	579,278
	57,540,617	56,055,694	1,484,923

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	120	120	
基本財産受取利息	120	120	
特定資産運用益	1,062	139	923
特定資産受取利息	1,062	139	923
事業収益	27,165,559	28,314,007	△1,148,448
県受託事業収入	17,583,657	18,988,326	△1,404,669
町受託事業収入	9,581,902	9,325,681	256,221
受取寄付金	23,000,000	20,000,000	3,000,000
受取寄付金	23,000,000	20,000,000	3,000,000
雑収益	46,112	48,148	△2,036
受取利息	16,112	648	15,464
雑収益	30,000	47,500	△17,500
経常収益計	50,212,853	48,362,414	1,850,439
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	45,654,114	44,752,102	902,012
給料諸手当	3,416,821	3,169,726	247,095
退職給付費用	10,364,208	9,935,433	428,775
福利厚生費	730,697	553,573	177,124
旅費交通費	1,793,543	1,773,256	20,287
通信運搬費	354,240	295,910	58,330
減価償却費	4,465,331	4,347,981	117,350
消耗什器備品費	39,171	60,444	△21,273
消耗品費	142,326	308,361	△166,035
修繕費	2,368,419	1,921,974	446,445
印刷製本費	903,815	2,012,340	△1,108,525
光熱水料費	15,265,624	14,887,884	377,740
賃借料	1,128,385	1,046,975	81,410
保険料	1,619,680	889,940	729,740
諸謝金	149,245	144,948	4,297
租税公課	210,150	239,800	△29,650
委託費	1,051,385	981,953	69,432
雑費	1,449,486	2,006,857	△557,371
管理費	201,588	174,747	26,841
役員報酬	3,979,461	3,847,664	131,797
給料諸手当	854,201	792,432	61,769
退職給付費用	1,966,000	1,901,640	64,360
福利厚生費	182,674	138,393	44,281
会議費	448,386	443,314	5,072
旅費交通費	30,320	26,830	3,490
通信運搬費	38,900	144,470	△105,570
減価償却費	54,506	49,010	5,496
消耗什器備品費	9,240	15,110	△5,870
消耗品費	28,028	43,485	△15,457
修繕費	80,050	33,384	46,666
光熱水料費	10,780	13,200	△2,420
保険料	17,416	16,159	1,257
租税公課	2,520	2,370	150
委託費	20,565	17,547	3,018
諸会費	8,059	8,059	
雑費	152,500	152,500	
	75,316	39,761	35,555

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
研修費		10,000	△10,000
経常費用計	49,633,575	48,599,766	1,033,809
評価損益等調整前当期経常増減額	579,278	△237,352	816,630
評価損益等計			
当期経常増減額	579,278	△237,352	816,630
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	579,278	△237,352	816,630
当期一般正味財産増減額	579,278	△237,352	816,630
一般正味財産期首残高	37,912,274	38,149,626	△237,352
一般正味財産期末残高	38,491,552	37,912,274	579,278
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	6,000,000	6,000,000	
指定正味財産期末残高	6,000,000	6,000,000	
III 正味財産期末残高	44,491,552	43,912,274	579,278

財産目録

令和7年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金 普通預金	伊予銀行伊方支店 普通預金 愛媛信用金庫八幡浜支店 普通預金	運転資金として 日本フルハップ引落口座として	3,168,040 円 6,021 円 36,174,061 3,174,061
定期預金	伊予銀行伊方支店 定期預金	運転資金として	33,000,000
未収金	愛媛県 伊方町 日本フルハップ。	令和6年度受託事業分 令和6年度受託事業分 人間ドック受診助成金	5,440,406 円 183,000 円 30,000 円 5,653,406
流動資産合計			41,827,467
(固定資産)			
現金預金 定期預金	伊予銀行伊方支店 定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源 として使用している。(愛媛県・伊方町・四国電力㈱ 出資金 各200万円)	6,000,000
特定資産	伊予銀行伊方支店 定期預金 伊予銀行伊方支店 普通預金	職員の退職金に備えたもの 資産取得資金	9,513,392
その他固定資産	放射線環境モニタ 9台 パソコン 5台、展示ホールベンチ 1脚 デジタルワイヤレスアンプ他付属品1台 什器備品 有形固定資產	うち公益目的保有財産 うち管理目的として使用する財産 (期末帳簿価格) (期末帳簿価格)	8,073,144 円 1,440,248 円 185,895 円 13,862 円 199,758
	会計・給与ソフトウェア 無形固定資產	管理目的として使用する財産 (期末帳簿価格)	1 円
固定資産合計			15,713,150
資産合計			57,540,617
(流動負債)			
未払金	伊方町 日本郵便(株) セキカ ㈱アイムービック 宇和島年金事務所 預り金	令和6年度職員派遣人件費 えひめ原子力だより 送料 ホームページ保守管理業務委託 他 展示物保守監視・レンタルサーバー費用 3月分社会保険料 公益目的事業及び管理目的の業務に使用する小口費用 所得税 社会保険料 雇用保険料	3,000,000 円 1,060,950 円 507,100 円 184,800 円 123,160 円 42,605 円 54,360 円 0 円 2,946 円 4,918,615
流動負債合計			4,975,921
(固定負債)	退職給付引当金	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員 退職給付金の引当金である。	8,073,144
固定負債合計			8,073,144
負債合計			8,073,144
正味財産			44,491,552

附 屬 明 細 書

1. 基本財産および特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

計上の理由及び金額の算定方法は、財務諸表に対する注記 2 重要な会計方針に記載のとおりである。

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記
該当事項なし

2 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
什器備品……………定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金……職員の退職給付の支給に備えるため、期末退職給付要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金	6,000,000	0	0	6,000,000
小計	6,000,000	0	0	6,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	7,159,773	913,371	0	8,073,144
減価償却引当資産	1,391,837	48,411	0	1,440,248
小計	8,551,610	961,782	0	9,513,392
合 計	14,551,610	961,782	0	15,513,392

4 基本財産及び特定資産の財源の内訳
基本財産及び特定資産の財源の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本金	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(—)
小 計	6,000,000	(6,000,000)	(0)	(—)
特定資産				
退職給付引当資産	8,073,144	(—)	(—)	(8,073,144)
減価償却引当資産	1,440,248	(—)	(1,440,248)	(—)
小 計	9,513,392	(0)	(1,440,248)	(8,073,144)
合 計	15,513,392	(6,000,000)	(1,440,248)	(8,073,144)

5 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,516,840	2,317,082	199,758

6 重要な後発事象

特になし